

16

カメラスケッチ
**広報マンが
行く!!**

このページは皆さんからの情報で
作られています。どのような
情報でもすぐにかけつけ
ます。お気軽にご連絡
ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913(課直通)

12月23日

町の防災・消防活動に57年7か月貢献 藤田茂さんが瑞宝双光章を受章



令和7年秋の叙勲において、元町消防団長の藤田茂さんに瑞宝双光章が授与され、その伝達式が12月23日、藤田さんの自宅で行われました。

藤田さんは昭和42年6月に弟子屈消防団へ入団し、後に副団長、団長を歴任。令和3年4月に弟子屈・川湯の両消防団が町消防団として統合された際も、初代団長に就任されました。入団から令和7年3月31までの長きにわたり町の防災・消防活動に尽力された功績から、この度の受章となりました。

12月25日

年末も防犯の心得を 歳末警戒街頭啓発を実施



令和7年度町歳末警戒街頭啓発が12月25日、町内各所で行われました。啓発には弟子屈警察署（鈴木将人署長）や各地区防犯協会など多くの関係機関から約30人が参加。4班に分かれ町内を巡回し、金融機関やスーパー・マーケットなどで来店者に啓発品の配布を行い、特殊詐欺などへの注意を呼び掛けました。

徳永町長は「弟子屈署管内でも詐欺の被害が発生している。隣近所でお互いが気を付けることが大事。」と話していました。

点灯式の様子

灯りで来訪者をおもてなし 川湯温泉街の提灯が一齐点灯式



川湯温泉街で12月22日、川湯温泉オリジナルロゴ提灯の一齐点灯式が行われました。

この提灯は、デザイン・プランディング事業で考案された川湯温泉街のロゴマークを活用したもので、温泉街再生への気運を高め、統一感をもった演出のおもてなしを目的に制作されました。川湯温泉街景観ガイドライン対象区域内の宿泊施設や飲食店、土産物店など17事業者の軒先に設置した30個の提灯が、この日一齊に点灯。川湯温泉街を温かな灯りが彩りました。

12月22日

詐欺防止・飲酒運転撲滅を啓発 年賀タウンメール差出交付式を開催



弟子屈地区金融機関防犯連絡協議会（鈴鹿信用金庫弟子屈支店長吉田信一会長）は弟子屈警察署（鈴木将人署長）と連携して「振り込め詐欺防止・飲酒運転撲滅年賀タウンメール」を作成し、その差出交付式が12月23日、弟子屈郵便局（佐々木啓之局長）で行われました。

本活動は地域の安心安全を守るため2014年より実施され、今回のタウンメールには詐欺の手口や飲酒運転への注意喚起が記載されています。吉田会長は「事故や犯罪を防ぐきっかけになれば。」と話していました。

配達員へはがきを交付

感謝状を手にする西村代表取締役（右）

感謝状を手にする西村代表取締役（右）

12月23日

牛乳について学ぼう 川湯保育園で食育講座を実施



川湯保育園（小林史和園長）が12月11日、JA摩周湖青年部（吉田雄貴部長）の5人とJA摩周湖マスコットキャラクターの牛山豚彦を講師に迎え、同園の3歳児から5歳児を対象に牛乳にまつわる食育講座を実施しました。

子牛の体重や牛が一日に出すミルクの量などについてクイズ形式で学んだ後、牛乳用調味料や牛山豚彦グッズなどが園児たちにプレゼントされました。講座の最後には、園児たちから「牛のことを教えてくれてありがとうございます。」と講師の皆さんに感謝が伝えられました。

12月11日

弟子屈墓地の支障木撤去に感謝 今井林業株に感謝状贈呈



12月1日から2日にかけて社会貢献活動を実施した今井林業㈱（西村良雄代表取締役）に対し町は、感謝状の贈呈式を12月12日、町役場で行いました。同社は、樹齢の経過により景観の悪化や倒木の危険性が生じていた弟子屈墓地内の樹木の伐採を行い、墓地の安全性確保や景観整備に貢献されました。西村代表取締役は「今後も地域のために活動していきたい。」と話していました。

12月12日

1年間の集大成イベント 川湯ダンスクラブがお披露目会を開催



川湯ダンスクラブ（丸山奈穂子代表）が12月11日、川湯中学校体育館でお披露目会を開催しました。

この日は、同クラブ所属の小中学生、高校生合わせて21人が参加し、今年度のイベント出演時に披露したダンスと、初の試みとして行われた選抜メンバーによるダンス、この日のために練習してきた新作ダンス計6曲が披露されました。会場には保護者や関係者、地域の方など約50人の観客が集まり、見事なダンスに大きな拍手が送られていました。

川湯ダンスクラブのメンバー

1月16日

身近な社会貢献活動を知る 川湯保育園児が車いすについて学習



川湯保育園（小林史和園長）が1月16日、（福）町社会福祉協議会（勝呂清会長）の職員2人を講師に迎え、同園の3歳児から5歳児を対象に車いす学習を実施しました。

普段集めているペットボトルのキャップやブルタブがどのように活用されているのか、ブルタブと引き換えた車いすをどのような人が使用しているのかを教わった後、車いすの広げ方や畳み方を練習してから試乗体験を行いました。最後に、園児たちから講師の方々に、同園で集めたキャップやブルタブ、古切手が寄付されました。

徳永組合長らによる観覧の様子

保育児たちの指示のもと避難する

消防活動の充実強化へ 町消防出初式を開催



町消防出初式が1月4日、弟子屈消防庁舎前で行われました。出初式は、地域住民の防災意識を高めるとともに、消防職員の士気高揚を目的に開催。徳永鉄道北部消防事務組合長らによる開幕式を行いました。

徳永組合長は、消防職員の日頃の活動をたたえながら「皆さんとともにこの弟子屈町を守っていきたい。」と話していました。

また、出初式終了後には、長年消防活動に尽力してきた消防団員の表彰伝達式も行われました。

1月4日

予期せぬ災害に備えて 認定こども園で防災訓練を実施



認定こども園ましゅう（高野龍彦園長）で12月17日、防災訓練が実施されました。

町防災士会（佐藤康弘会長）の協力のもと行われた本訓練には、園児94人と教職員26人が参加。訓練前に、紙芝居や講話、実際の水害映像の視聴などにより、災害や防災について教わりました。その後、降雨で鎧別川が増水したことによる洪水災害を想定し実施された避難訓練で、園児たちは保育者の指示に従い真剣に取り組み、身を守る方法をしっかりと学びました。

12月17日

みんなで力を込めて 認定こども園の園児たちが餅つき



認定こども園ましゅう（高野龍彦園長）の餅つき大会が12月16日、同園で行われました。

餅つきは毎年正月に行われている恒例行事で、はじめに先生方から餅つきの由来を教わり、その後一人一人交代して餅をつきました。「よいしょ！よいしょ！」と元気な掛け声に合わせてみんなで一生懸命ついたお餅は、園児たちの手により鏡餅となり、園に飾られました。「きれいに鏡餅を作れた、楽しかった！」と、園児たちはたくさん笑顔を見せっていました。

お餅を丸めて鏡餅づくり